

今週のビルマのニュース  
2008年11月14日号【0835号】

今週の主なニュース:民主化活動家らに一斉判決

- ・この1週間で40人以上の活動家や僧侶が長期の禁固刑判決を受けた。判決を受けたのはアウンサンスーチー氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)党員13人、「88世代学生グループ」の14人、ランゲーンのヌウェチャーヤン僧院の僧侶5人、労働活動家スーヌウエ氏など。軍政が2010年に予定している総選挙を前に、反対意見を許さない姿勢を打ち出したとみられる(13日付AP、12日付AFPほか)。
- ・一連の長期禁固判決の言い渡しについて英国、米国、カナダ、ドイツなどの政府が非難の声明を発表。14日正午現在、日本政府から声明などは出ていない。
- ・国連事務総長は12日、深い懸念を表明し、全政治囚の解放を改めて呼びかけた。
- ・国連人権特別報告者のキンタナ氏は、ビルマ民主化系メディア「ミジマ」とのインタビューの中で、「(ビルマに)独立した公平な司法制度は存在しない」と述べた。また、今回活動家が受けた裁判は公平だとは言えず、軍政は判決を見直すべきだと加えた(13日付ミジマ)。

その他:マイケル・グリーン氏が特使に? ほか

- ・ブッシュ米大統領は前国家安全保障会議(NSC)アジア上級部長で戦略国際問題研究所(CSIS)上級顧問兼日本部長のマイケル・グリーン氏をビルマへの特使として指名した。実際に就任するには米議会上院によって承認される必要があるが、指名公聴会の時期は未定(11日付APほか)。本来なら就任してもブッシュ大統領の退任時に辞任するが、グリーン氏の場合は、指名承認のかぎとなる上院外交委員会の委員長がバイデン次期副大統領である関係から、就任すればオバマ政権の下でも特使であり続ける可能性も。特使の設置は、ビルマ産宝石の輸入を禁止する法律(今年7月に制定)で定められている。
- ・EUは10日、アウンサンスーチー氏ら全政治囚を解放し、民主化勢力や少数民族との三者対話を始めなければ2010年の総選挙は信用性を持たない、とする結論を発表した。

- ・ビルマとバングラデシュとが領海線をめぐって争っているベンガル湾海域で、ビルマ側が天然ガスの探鉱の機材を撤退させた。しかし陸の国境ではビルマ軍が部隊を増強するなどして緊張状態が続く(10日付イラワディ誌ほか)。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

- ・宇田有三写真展「アウンサンスーチーとビルマ」(岐阜県 瑞浪芸術館、24日まで)
- ・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会「ビルマ語講座入門」(大阪ボランティアセンター 地下1階ボランティアルーム、14日19時~)
- ・第24回世界仏教徒会議日本大会にビルマ人僧侶ナヤカ師出席(浅草ビューホテル、15日12時~)
- ・連続セミナー「外国籍の家族と子どもの今」第5回 日本の難民・移民の現在と未来 トークショー 第2部『難民の家族』にビルマ難民Mさん家族(日本キリスト教会館4F、23日14時~)
- ・神戸松蔭女子学院大学 2008年秋季特別講座シリーズ「ミャンマー(ビルマ)の現状」講師:日本ビルマ救援センター代表 中尾恵子氏(神戸松蔭女子学院大学、26日14時40分~)

- ・アジアと日本のつながりを考える国際セミナー「100人の村 あなたもここに生きています」ヒューライツ大阪ほか主催 秋元由紀がパネルに参加(大阪市阿倍野区民ホール、12月5日14時~)
- ・ビルマ市民フォーラム例会「初めての方のための『ビルマ入門講座』ビデオ上映と講演 根本敬」(文京シビックセンター、12月6日18時半~)

ジェーン・バーキン最新アルバム『冬の子供たち』が11月26日に発売予定。アウンサンスーチー氏に捧げる楽曲「アウンサンスーチー」を収録。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org/>

<p><b>お問い合わせ</b> ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 <a href="mailto:yuki@burmainfo.org">yuki@burmainfo.org</a> 080-2006-0165</p>
--